

小澤真智子～旅するヴァイオリン～

ニューヨーク便り vol.4

2018年 夏 6月版

今年のニューヨーク、4月になっても雪が降った！

というくらい、なかなか春が訪れることがない異常気象の冬がやっと終わりました。

気持ちいい春の日を飛び越して暑い夏が突然やって来ました。

さて、アメリカでは、通常9月から新学期が始まり、6月で一年が終了します。

ということで、私のバイオリンの生徒たちも一年の成果を発表する時期が来ました！



毎週の積み重ねがいかに大切か、思い知らされます。

一回一回のレッスンでは、なかなかわかりづらいのですが

しかも、アメリカ人は、日本人に比べるとあまり勤勉ではない・・・

それでも、こうやって一年経ってみると、生徒の成長をみることができ、

なかなか感慨深いものです。

さて、こちらアメリカでは、4月以降は年度末ということで

本当に慌ただしい毎日です。

私自身としては、3年ぶりにニューヨークに戻って来て、以前のように

アクティブにいろいろな場所で演奏をするようになりました。

やっと「復活」した気分です。

その一つに、タンゴの活動があります。

ブルックリン、地下鉄Lラインの Williamsburg にある「Cafe Argentino」というアルゼンチン系バー/レストランで、タンゴの演奏をはじめました。

タンゴの音楽は、まさにこういう場所から始まった、と思うと

気分が盛り上がります。

一曲ごとに掛け声など上がって、そういう小さなことで自然と演奏している方も

気分が高まるのです。



演奏の合間には、美味しいアルゼンチンの赤ワイン・Malbec を。演奏後は、アルゼンチンスタイルの美味しいステーキを。まるでブエノス・アイレスにいるみたいです。たまにはこうやって、リラックスして演奏するのも楽しいものです！その音楽の原点に戻って向き合うと、また新しい発見があるものです。2014年まで5年間演奏していた、同じくブルックリンにある「Pan e vino」というイタリアンレストランでの活動を思い起こさせます。

さて、7月日本公演です。7月10日昭和女子大人見記念講堂、7月12日鎌倉芸術館（小）での演奏を楽しみに6月末から日本へ！皆様にお会いできるのを楽しみにしています！！

小澤真智子
NYにて